

カリキュラム区分		4カリ		シラバス区分		学部生		
科目区分	科目コード	履修時期		開講学科	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
専門基礎科目	145	1年	前期	看護学科	必修	人体の構造・機能Ⅱ（共通） Human Anatomy and Physiology II	30	1
担当教員								
山口 文徳								
関連するDPキーワード（看護学科）								
	① 幅広い視野と豊かな感性を身につけ、人々の権利や意思を尊重した倫理的な看護が実践できる。							
	② 他者との関係性を成立・発展させるためのコミュニケーション能力を身につけている。							
	③ 地域で生活する複雑・多様な対象を、専門的知識に基づき総合的に理解するための基礎的能力を身につけている。							
○	④ 看護の対象が、その人らしく生きられるように、科学的根拠に基づいた看護が実践できる能力を身につけている。							
○	⑤ 地域社会及び保健・医療・福祉分野における多職種と連携・協働し、看護職の役割を拡大できる基礎的能力を身につけている。							
	⑥ 看護専門職として、主体的・創造的に継続学習に取り組む能力を身につけている。							
	⑦ グローバルな視点で看護実践を科学的に探究し、看護を発展させる基礎的能力を身につけている。							
関連するDPキーワード（臨床検査学科）								
	① 幅広い知識・教養をもとに、医学検査の対象となる人を総合的に理解し、その人の権利や意思を尊重することができる。							
	② 医学的に必要な専門知識・技術を備え、検査データを総合的に解析する力を身につけている。							
	③ 多職種間で連携・協働しながら医学検査の専門家として貢献できる力を身につけている。							
	④ 医学検査とそれぞれに関連した幅広い分野の発展・向上のために、自らの能力を高める自己教育力を身につけている。							
	⑤ 科学的思考力に基づき、医学検査の進歩・発展に対応できる学究的態度を身につけている。							
	⑥ 医学検査を通して、社会の多様性に合わせた貢献ができる基礎的能力を身につけている。							
授業目的								
医療従事者として、疾病の理解が正確にできるように、あるいは医師、薬剤師、理学療法士、介護福祉士などのスタッフと密な連携をとって行動できるようになるために人体の各分野の構造と機能についての知識を獲得し、医療に携わるうえで必須である正常な人体の構造と機能を解剖学的、生理学的に正確に説明できるようになる。								
特にこの科目では、血液、生体防御、血液循環・呼吸を司る器官の構造とその働き、ならびに腎臓の構造と機能などについて説明できるようになる。								
到達目標（授業目標）								
	① 血液の成分と機能や造血器と造血機能を説明できる。							
	② 止血と血液凝固・線溶系を説明できる。							
	③ 血液型（ABO式、Rh式）を説明できる。							
	④ 免疫応答、自然免疫と獲得免疫を説明できる。							
	⑤ 液性免疫と細胞性免疫を説明できる。							
	⑥ 心・血管系、リンパ系の構造と機能、血圧の調節機構を説明できる。							
	⑦ 気道系（鼻腔、副鼻腔、喉頭、気管、気管支）の構造と機能を説明できる。							
	⑧ 肺の構造と機能（呼吸の機序とその調節系を含む）を説明できる。							
	⑨ 腎臓と尿路（尿管、膀胱、尿道）の構造と機能を説明できる。							
	⑩ 体液の量と組成、体液の調節（体液量、電解質バランス、浸透圧）を説明できる。							
授業計画（項目・内容与方法・担当者）								
回								
1回	血液（1）血液の成分特性、赤血球について講義する。							
2回	血液（2）白血球、血小板、造血器官について講義する。							
3回	血液（3）止血機構、血液型判定について講義する。							

4回	生体の防御機構（1）生体の非特異的・特異的防御機構について講義する。								
5回	生体の防御機構（2）抗原と抗体、アレルギーについて講義する。								
6回	循環器系－心臓血管系（1）心臓の構造と機能について講義する。								
7回	循環器系－心臓血管系（2）心臓の刺激伝導系について講義する。								
8回	循環器系－血管系（1）循環系と頭部、上下肢の血管系について講義する。								
9回	循環器系－血管系（2）門脈、リンパ系、血圧調節について講義する。								
10回	呼吸器系（1）鼻腔、副鼻腔、喉頭、咽頭の構造と機能について講義する。								
11回	呼吸器系（2）肺の構造と機能について講義する。								
12回	呼吸器系（3）ガス交換、血液pHの調節機構について講義する。								
13回	泌尿器系（1）腎臓の構造について講義する。								
14回	泌尿器系（2）腎臓の機能と尿の生成について講義する。								
15回	泌尿器系（3）体液・電解質量の調整、排尿・排便機能について講義する。								
16回									
17回									
18回									
19回									
20回									
21回									
22回									
23回									
24回									
25回									
26回									
27回									
28回									
29回									
30回									
成績評価方法及び基準									
成績は筆記試験で100%評価する。試験は100点満点とし60点以上を合格とする。									
教科書	下正宗ほか 「コアテキスト人体の構造と機能」（医学書院）								
参考図書等									
授業時間外の学習について（授業準備のための指示）									
テキストを用いた予習・復習（計1時間）が必須。									
関連科目									
前科目	144 人体の構造・機能Ⅰ								
後科目	146 人体の構造・機能Ⅲ	156 臨床病態学Ⅰ(共	157 臨床病態学Ⅱ(共						
実務家教員									
医師（医療機関）	山口 文徳								
備考	授業前中に配布するプリント等を活用して、授業内容を「記憶」しているのではなく、「理解」できていることが自覚できるように学習してください。疑問点はオフィスアワー（学生専用ページから曜日時間を確認してください。）を活用して質問しに来てください。								